

長坂ふれあい広場

2009

冬

vol.12

新春にあたって

新年明けましておめでとうございます。年頭の挨拶にあたり、昨年1年間、大変忙しい中で頑張っていたいただいた社員の皆さん、そして、ご支援いただいたご家族の皆さんに、深く感謝を申し上げたいと思います。

昨年は、新たな中期経営計画を策定し、それに沿った各部署長によるマネジメントプログラムを社員の皆さん、一人ひとりと共に行動に移した新たな年でした。そんな中、我々を待ち受けていたものは、あの「100年に一度」の事件でした。アメリカ経済に多大な影響を受ける我々の日本国は、あっという間に株価が大暴落し、そして急激な円高を経験したのです。その結果、多くの超優良といわれてきた企業が大打撃を受けました。そして、連日の報道から我々の耳に入ってくるのは、本当に暗いニュースばかりとなっています。確かに現時点の我々が置かれている状況は、大変に厳しいことに間違いありません。しかし、逆にこんな時期だからこそ、しなければならないこと、または、出来ることが必ずあるはずです。その証拠に日本をリードする多くの企業は、既に次のステップに入っています。我々の最大顧客であるデンソー殿も、その先頭をいく企業であることは確かな事実です。私自身、この数カ月の間、要職に就かれている多くの方たちにお目にかかり、お話をさせていただく中で強くそのことを感じました。それでは、今、我々は何をすべきか？そこで、皆さんには、3つのお願いをしたいと思います。

(1) 変化に敏感になる

今後、お客様からの要望は、今まで以上に高度にまた、スピーディーなものとなることに違いありません。お客様が今何を求めているのか？また、今後どんな提案をすれば喜んでいただけるのか？我々一人ひとりがより敏感になりましょう。

(2) 経営理念の再認識

「そこになくってはならない人となることを常に心がけ、そこになくってはならない会社創りに努力する」。まさに、今必要なのはこの言葉だと思います。是非、その意味の再認識をお願いします。

(3) 現状維持は退歩

以前にも皆さんに何度かお願いしました。我々は、個人も企業も現状に満足して足踏みをした時点で後退が始まってしまう。組付け方法の改善、試作技術の更なる向上等を常に推し進め、一日一歩ずつ前進しましょう。

今、我々が直面する危機を乗り越えるのには、大変な労力が必要になることには違いありません。しかし、この逆境に力を合わせて勝つことができれば、我社は更に成長するに間違いありません。2009年、新しい株式会社長坂に生まれ変わる1年にしたいと思います。

代表取締役 長坂 哲次

新年明けましておめでとうございます。

昨年前半までの日本経済は順調に推移していましたが9月に入るとサブプライムローン問題をきっかけに起きた急激な円高や世界同時株安による世界経済の混乱は未だに解決の糸口が見つからぬまま、日本経済の先行きに大いなる不透明感を与えております。

経済・国・絆等が「壊れた」のか、作家の五木寛之氏が先日テレビにて、『まさに五百年に一度の変化』と発言されていました。航海から漂流への時とは感じますが「株式会社 長坂」に於いては皆様と一緒に危機感を持って何よりも“一致団結”して悪化経済の好転を信じ、“本年は気分を一新”して楽しく頑張る乗り切りましょう。

また品質第一主義のスローガンを目指して培った信用を守り、「信用を売る」会社を目指したいと思います。

本年も皆様、ご家族の方々の御健康と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

追伸：2008年度 皆様方の御努力と御協力によって、株式会社デンソー調達部様より、「推奨仕入先」

(重点管理指定品の新規発注選定先)の認定を頂くことが出来ました。誠にありがとうございました。

専務取締役 長坂 昌孝



新年祭開催される

今年は丑年ですが、ある百科事典を見ましたところ、

——『漢書（カンジョ）』律曆志によると、「丑」は「紐」（ちゅう：「ひも」、「からむ」の意味）で、芽が種子の中に生じてまだ伸びることができない状態を表しているといわれる。後に、覚え易くするために動物の丑が割り当てられた。——とあります。

新しい芽が種子から伸びる年と考えれば、当社にとって新たな中期経営計画が胎動をはじめ、やがて大きな成果を得るためのスタートの年と言ってよいのではないのでしょうか？

今年の新年祭は、1月7日（水）に市原稻荷神社の小嶋宮司に來社いただき、祝詞奏上に続き、雅楽が流れる厳かな雰囲気の中で、リーダー以上の職制が、玉串奉奠（タマガシホウテン）を行って、今年一年の無事と当社の事業繁栄をお祈りしました。
（管理部総務課 高橋）



年男・年女の方

今年の抱負をひと言お願いします！

試作部 試作1課 佐竹 正行——
2009年「丁寧に活動する」です。厳しい世相の中、気持ちや行動が、荒み勝ちですが、一つ一つ、目の前の課題を丁寧にやって行きたいと思えます。

試作部 試作1課 松井 崇——
仕事では、ガラスフロント加工の担当になったので、作業環境などを自分に合った物に変えて行きたいと思えます。家庭では、上の子供が釣りを始めたので、なんとか30cmオーバーの魚を釣らせてあげたいです。大変な年になりそうなのですが、公私共に目標を達成できるように頑張っていきたいと思います。

製造部 製造1課 鈴木みや子——
健康管理に今以上に気を使い元気で頑張りたいです。

製造部 製造1課 今塩屋鈴子——
昨年のガソリン値上がりで、エコドライブを心掛けてきました。環境にもやさしい、私の財布にもやさしいかと思ひ、今年もエコドライブを心掛けて行きたいと思っています。

製造部 検査課 山本美津子——
健康に気をつけて、全ての人達との和を大切に仕事を頑張っていきたいです。

製造部 検査課 谷澤千恵子——
家族みんなが健康であれば良いと思えます。

製造部 製造2課 加藤 夕三——
心身ともに健康に過ごす。

管理部 総務課 大久保雅章——
今年の抱負は、「自己管理をしっかりする」です。日々の体調管理には、十分気をつけ、いつも心身ともにベストの状態です仕事に励んで行きたいです。また、今年は年男として一段と落ち着き、ここで今一度 自分の短所・長所を見つめ直し、日々成長していけるように頑張りたいと思ひます。

新成人おめでとう!



製造部製造1課 1係 野口 貴之

成人式を迎えて

1月12日に成人式で久しぶりに色々な人に会って来ました。友人は、大学で頑張ったり、子供が出来ていたりして、大変そうでした。

自分も周りの人達に負けないように、頑張っ
て行けたらいいなと思いました。

製造部生産管理課 生産管理係 杉田 英里華

成人式を迎えて

成人式には残念ながら行かなかったのですが、2次会で久しぶりに会えた友達と食事ができて、凄く嬉しくて楽しい1日となりました。

その後…あらためて20歳になったんだと考えると、あっという間の20歳だったなと思いました。そして今まで、あまり月日を大切にせずに過ごしてしまったのではないかなと思うようになりました。もっと色々できたのではないかと改めて考えました。

全然大人になった気がしませんが、これからは…あらためて自分らしさやこの先に何をするかを考え自立できる大人になりたいです。



品質で表彰される角谷さん



2008年度品質表彰を12月24日に行いました。

「不良0」という言葉の重みは組付作業者の皆さんが一番理解されていると思います。非常に難しい事なのです。しかし、不良を出さなかった人と出した人との差はなんのでしょうか?その答えが対象者に繋がると思います。

2009年度は一人でも多く表彰したいと思います。

ホース部門に關係する作業者全員に1年間の感謝を申し上げます。

「ありがとうございました。これからもよろしく願い致します。」

(製造部検査課 課長 近藤正浩)



QMSだより ~ ISO9001:2000 定期審査・変更審査が無事終了~

'08/11/26(水)~28(金)の3日間にわたり、JQAの審査員による審査が行われました。今回は、従来の定期審査のほかに今まで適用除外としていた、「7.3 設計・開発」と「7.5.2 製造およびサービスの提供に関するプロセスの妥当性の確認」が、追加審査となりました。

前者は、試作部および製造部の組付治具の設計・開発および製作が本格化し、生産準備や製造プロセスへの取り組みが妥当と考えられたためです。また、後者はドライヤの溶着化に伴い、溶着強度など検査(非破壊の)で確認できない工程の管理(妥当性の確認)が規格で要求されているためです。

審査の結果、改善指摘が1件あったもののQMSは規格に対し全般的には有効であると判定されましたが、特に、7.3の設計・開発のプロセスでは、その仕組みを構築したばかりであり、今後運用をはかる中で完成度を上げていくことが課題となっています。(経営管理課・高橋、鈴木)

